



## 「ことば」が「ことば」であり続けるために

「ことば」は本来、ひととひとの間に生まれてくるもの。ひとが温め、ひとがひとに力を与えていくもの。

その「ことば」が、SNSやAIの進化によって急速に変わりつつあります。

情報、記号、確率的な処理もまた「ことば」と言われる時代です。

だからこそ、未来に向かって「ことば」が「ことば」であり続けるために私たちは何をすべきなのか。

これからの「ことば」のあり方について、皆様とご一緒に考えます。

## 第16回「博報教育フォーラム」

申込  
受付中

- 開催日時: 2019年2月23日(土) 12:30~18:30 (受付開始 12:00)
- 会場: 日本工業倶楽部 (東京都千代田区丸の内1-4-6) ●後援: 文部科学省
- 主催: 公益財団法人 博報児童教育振興会 ●参加費【無料】定員200名
- 応募期間: 2018年12月1日(土)~2019年1月31日(木) ※定員になり次第  
締め切らせていただきます。

# 第16回「博報教育フォーラム」

## 「ことば」が「ことば」であり続けるために

### プログラム

12:30	<b>開会</b> (受付開始12:00)
12:40~13:55	<p><b>群馬県 伊勢崎市教育研究所 日本語教育研究班</b>  <small>【博報賞(国語・日本語教育部門)、文部科学大臣賞 受賞】</small>                  日本語指導「ひろがることば・夢・希望」の開発</p> <p><b>岐阜県 岐阜市立明郷<sup>めいごう</sup>小学校 言語障がい通級指導教室 (ことばの教室)</b>  <small>【博報賞(特別支援教育部門)、文部科学大臣賞 受賞】</small>                  明郷小学校吃音の会</p> <p><b>福島県 富岡町立富岡第一<sup>みはる</sup>中学校・第二中学校 三春校</b>  <small>【博報賞(教育活性化部門)、文部科学大臣賞 受賞】</small>                  「知る」「広げる・深める」「つなぐ」ふるさと創造学</p>
13:55~14:30	<b>基調講演</b> 鹿毛雅治 (慶應義塾大学 教授)
14:30~15:10	<b>ポスターセッション</b>
15:10~17:20	<p><b>パネルディスカッション&amp;グループセッション</b></p> <p>コーディネーター／嶋野道弘 (元文教大学 教授)                  パネリスト／鹿毛雅治、事例発表者代表3名</p>
17:30~18:30	<b>交流会</b>

〈敬称略〉

### ●お申し込み

当財団ホームページ「博報教育フォーラム」のページにある「フォーラム参加お申し込みフォーム」よりお申し込みください。  
 第16回「博報教育フォーラム」の詳細は、当財団ホームページでもご案内しております。

[www.hakuhofoundation.or.jp/prize/forum/](http://www.hakuhofoundation.or.jp/prize/forum/)

博報フォーラム

検索



◎お申し込み多数の場合は、先着順とさせていただきます。◎お申し込みいただいた方には、2月上旬に「入場証ハガキ」をお送りいたします。2月15日までにお手元に届かない場合は、お手数ですが当財団までお電話にてご一報ください。◎当日「入場証ハガキ」をお持ちでない方のご参加はお断りすることもありますので、ご了承ください。

### ●会場のご案内



- JR線 ●地下鉄 丸の内線 東京駅下車(丸の内北口より徒歩2分)
- 地下鉄 三田線/千代田線 大手町駅下車(D3・D4出口より徒歩3分)
- 地下鉄 東西線 大手町駅下車(B1出口より徒歩3分)
- 地下鉄 半蔵門線 大手町駅下車(A5出口より徒歩5分)

### ●問合せ先

公益財団法人 博報児童教育振興会(博報財団) 博報賞担当  
 Tel:03-5570-5008 フォーラム問合せメール:hakuhouforamu@hakuhodo.co.jp